

令和元年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立佐太小学校)

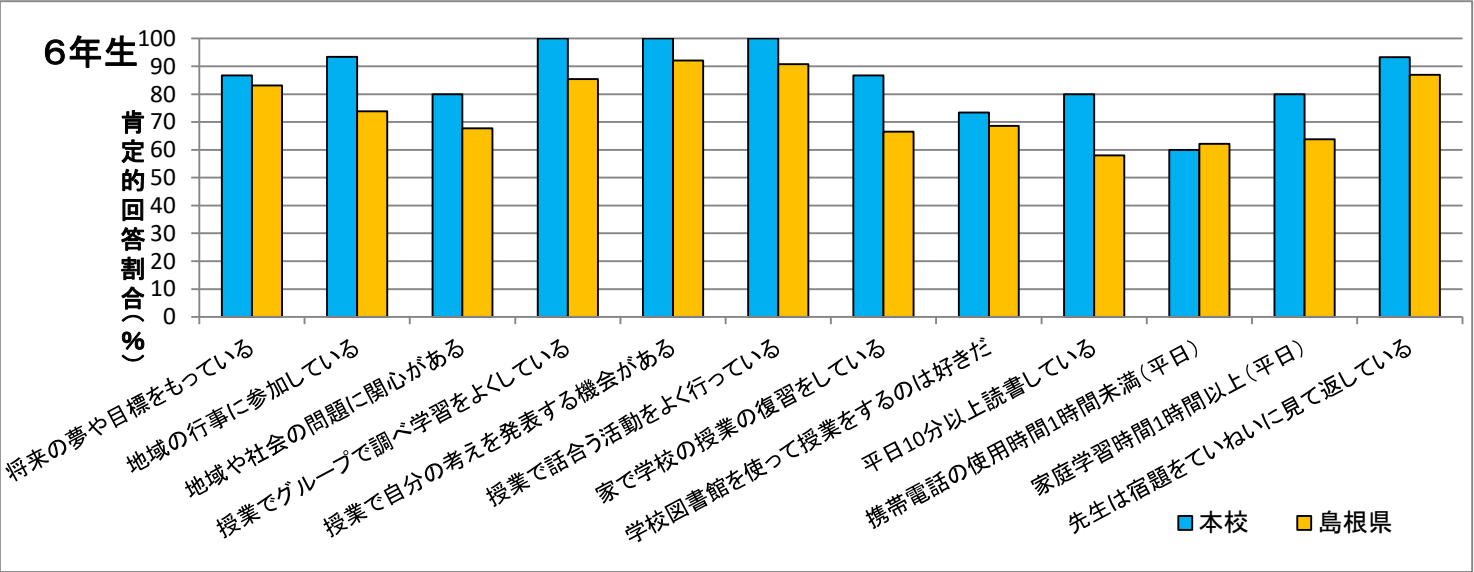
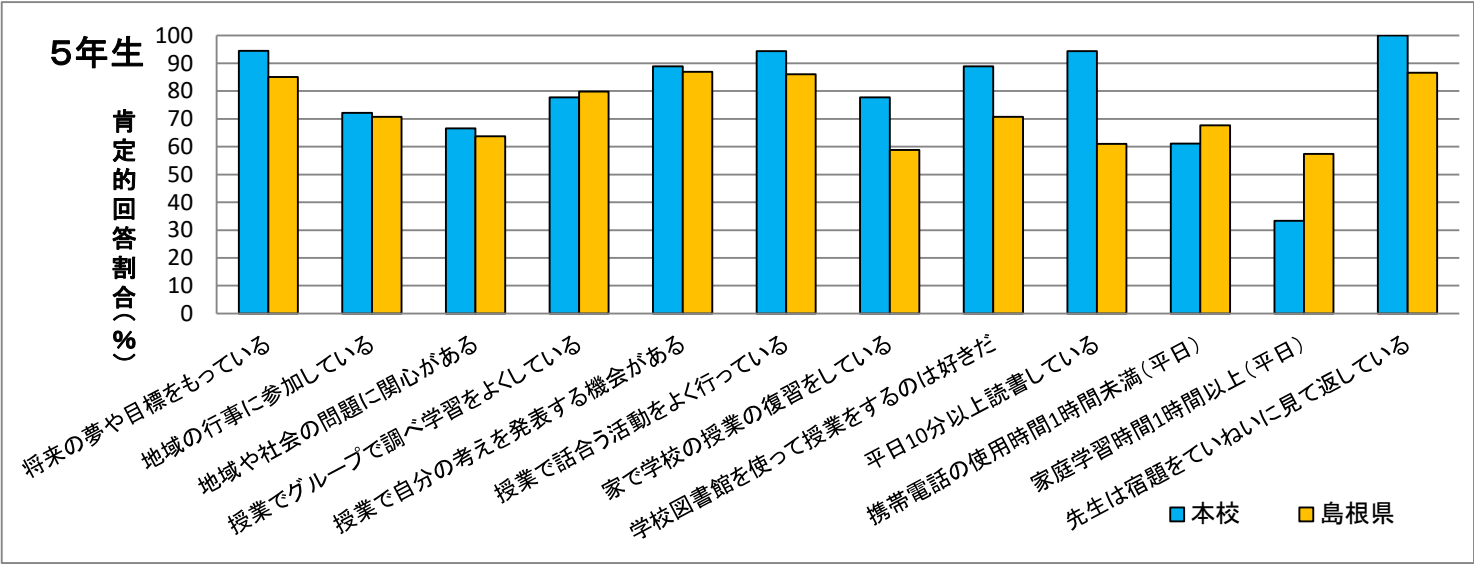
(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	国語	○短文を読み、その文章構成や筆者の意図を理解する問題の正答率が高い。 ●撥音のローマ字を書く問題の正答率が低い。 ●長文を読んで、文章の内容を問う問題の正答率が低い。	・ローマ字の書き方については、拗音、撥音などの書き方とともにアルファベットの書き方の習熟を図るために、月1回のチャレンジテストにおいて出題する。 ・長文を書くことに慣れるように、行事作文等を通して800字程度の文章を書くようにする。
	算数	○表などからきまりを見つける問題の正答率が高い。 ○小数のかけ算の計算は正確にできる。 ●例にならって解き方を説明する問題の正答率が低い。 ●直方体の展開図からある頂点と重なる他の頂点を求める問題の正答率が低い。	・論理的に説明する力を養うために、ペア、グループなどでの対話を通して、自分の考えを順序よく説明する機会を意図的に設ける。 ・立体の構成要素について具体物を使っての数学的活動を取り入れる。
6年	国語	○全ての領域において県平均を上回った。特に、第5学年配当の漢字の読み書き、読み手にわかりやすい表現を工夫して書くなどの問いで正答率が高かった。 ●目的や意図に応じて情報を整理しながら資料を読み、自分の考えの理由を条件に合わせて簡潔に文章に表現する問いで正答率が低かった。	・新聞等を読んだ後の感想や自分の考えを、字数制限をして書かせる課題を与え、要約することに慣れ親しませる。 ・文書中から大事な言葉を抜き出し、それを使って簡潔に文章に表したり、自分の言葉で説明したりする活動を行う。
	算数	○全ての領域において県平均を上回った。特に、平面図形の面積、数量関係、小数の乗法などに関する問題において正答率が高かった。 ●2つの資料を読み取り、人口がどのように変わったのかを、言葉や式を使って説明する活用問題において正答率が低かった。	・問われていることに対して必要な情報をもらさずに答えることができるようにするために、根拠となる考えを順序立てて分かりやすく説明するように繰り返し指導する。

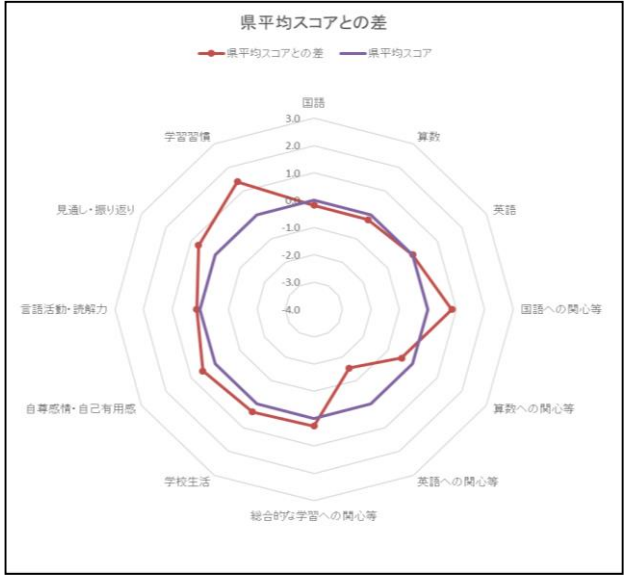
(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	授業改善に関わる事項	○読書の習慣は身に付いており、家庭で読書をしたり、図書館を利用しての学習に対して意欲的に取り組んだりする児童が多い。 ●算数や外国語への関心が低い。	・読書の幅を広げられるように、おはなし会や図書館教育の機会を有効利用していく。 ・日常生活と算数、外国語のつながりを考えられるようにするために、日常生活で生かせるような算数の問題を授業で扱ったり、学校内外で外国語を使ったりするような活動を取り入れる。
	家庭学習に関わる事項	○授業で学習したことを家庭で自主学習ノートなどを使って復習する習慣が身に付いている児童の割合が高い。 ●家庭学習において学習している時間が短い。 ●携帯電話の使用時間について、県平均に比べ肯定的な回答の割合が低い傾向にある。	・より質の高い家庭学習になるように、自力で課題解決するために調べたり、必要性や達成感があるものなどを与えたりする。 ・携帯電話の使用時間については、鹿島ふれあい学園の取組である健康チャレンジ週間や学級懇談等を通じて、児童・保護者と共に考えていく。
6年	授業改善に関わる事項	○授業改善に関わる項目については、概ね肯定的な回答の割合が高い。特に、グループ学習や話し合う活動への意欲的な参加については意識が高い。 ●学校図書館の利用の項目が他と比べ低かった。	・子どもたちが図書館の資料を使って、分きたい、知りたい、と思う課題設定を工夫していく。また、司書教諭、学校図書館司書らと連携し、より利用しやすい資料選択や情報提供を心がけていく。
	家庭学習に関わる事項	○家で授業の復習をしている、家で読書をしている児童の割合が高かった。 ●携帯電話の使用時間について、県平均に比べ肯定的な回答の割合が低い傾向にある。	・携帯電話の使用時間については、鹿島ふれあい学園の取組である健康チャレンジ週間や、学級懇談等を通じて、児童・保護者と共に考えていく。

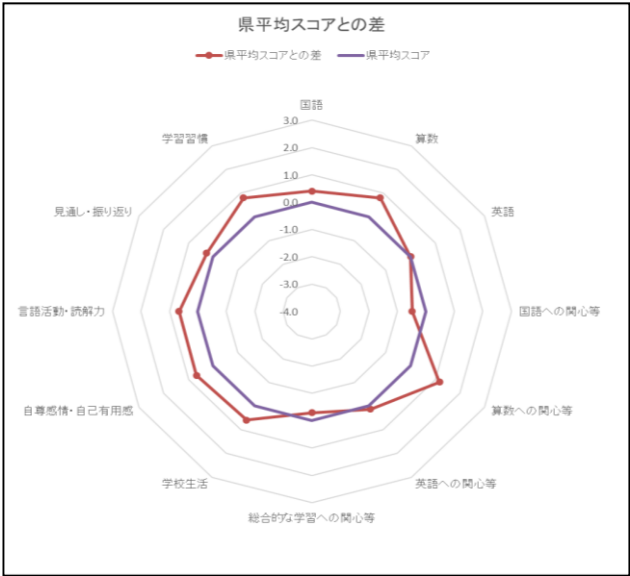
(4) 生活・学習に関する意識調査の結果



(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



6年



(参考) 平均正答率

		国語	算数
5年生	本校	56	53
	松江市	61	60
	島根県	60	58

受検者数
5年生 18 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。
スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(参考) 平均正答率

		国語	算数
6年生	本校	59	76
	松江市	52	60
	島根県	51	59

受検者数
6年生 15 人